

2025年の10大トピックス

1 編集担当者が選んだ「熊本半導体」10大トピックス

熊本県では2025年も半導体をめぐる動きが活発だった。TSMCは10月に第2工場の建設を開始したと表明。半導体関連施設の完成も相次いだ。当コーナーの編集担当者が、県内の半導体関連の10大トピックス（12月4日時点）を選んだ。

公表日	
2月21日	くまもと半導体グリーンイノベーション協議会が発足 半導体の新たな業界団体が発足。ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング、JASM、東京エレクトロン九州などが名を連ねた
3月25日	熊本県が「くまもとサイエンスパーク推進ビジョン」を公表 県内に半導体関連の企業や研究機関を集積させるビジョンを公表。セミコンテックノパーク近隣エリアを中核拠点とする「分散型サイエンスパーク」とする
5月2日	熊本空港に国際航空貨物の取り扱い施設が開所 熊本空港を運営する熊本国際空港が、半導体関連の貨物需要の増加に対応して開所。デンマークの物流大手が運営を受託する
6月19日	菊陽町が新工業団地の整備を表明 TSMC第1工場の南側に新工業団地を整備する計画を地権者に説明。農地など24ヘクタールを整備し、2031年度の開業を目指す
6月27日	熊本大で半導体の研究教育棟が完成 企業などとの共同研究を推進する研究棟「SOIL」と、半導体やDXに関する高度人材を育成する教育棟「D-Square」からなる新棟が完成
9月22日	熊本県立大が半導体の新学部設置を発表 半導体学部半導体学科を2027年4月に開設すると発表。定員は1学年60人で、半導体の力で社会に貢献する人材を育成する

以降は会員専用ページにて公開しております。

ご覧頂くには、入会手続き後、会員専用ページよりアクセスをお願いします。

[ご入会はこちらから](#)

（入力は数分で終わります）

[会員の方はこちらから](#)